

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社 グローバルキッズ  
グローバルキッズ戸塚第二保育園

平成29年 9月 5日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

# 目次

## 評価結果総括

- 評価方法 ..... 1
- 総合評価 ..... 2
- 評価領域ごとの特記事項 ..... 5
  - 人権の尊重
  - 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供サービス
  - サービスマネジメントシステムの確立
  - 地域との交流、連携
  - 運営上の透明性の確保と継続性
  - 職員の資質向上

## 分類別評価結果

- 利用者本人（子ども本人）の尊重 ..... 8
- サービスの実施内容 ..... 11
- 地域支援機能 ..... 15
- 開かれた運営 ..... 16
- 人材育成、援助技術の向上 ..... 17
- 経営管理 ..... 18

## 利用者本人調査

- 利用者本人調査結果 ..... 19

## 家族アンケート結果

- アンケートの概要 ..... 23
- アンケート結果 ..... 24

## 事業者コメント

- 事業者からのコメント ..... 29

## 評価結果総括

---

法人名 株式会社 グローバルキッズ  
事業所名 グローバルキッズ戸塚第二保育園  
施設長名 井澤 くるみ

### □ 評価方法

#### 自己評価方法

実施期間 平成 29 年 5 月 31 日～平成 29 年 6 月 30 日  
実施方法 全職員が合議して自己評価を実施し、施設としてまとめた。

#### 評価調査員による評価方法

実施日 平成 29 年 8 月 4 日、平成 29 年 8 月 8 日  
実施方法 評価調査員が訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

#### 利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 29 年 6 月 8 日～平成 29 年 6 月 30 日  
実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関に郵送してもらった。

#### 利用者本人調査方法

実施日 平成 29 年 8 月 4 日、平成 29 年 8 月 8 日  
実施方法 訪問調査時に保育見学、食事や活動場면을観察して行った。

## □ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

### [施設の概要]

グローバルキッズ戸塚第二保育園は、JR戸塚駅から徒歩で5分程の、駅に程近いビル内にあります。駅に沿った歩道橋などからもビルの2階、3階にある保育園の大きな窓が見えます。窓には可愛らしい装飾が施され明るいイメージが伝わってきます。

運営法人は、2006年4月に設立された株式会社グローバルキッズで、首都圏を中心に100施設を超える保育園を運営しています。園の開設は2012年4月で、定員は110名のところ現在109名の利用となっています。

理念に「子ども達の未来のために」、保育理念に「豊かに生きる力を育てる」を掲げています。職員には「豊かな心を持った輝いた大人を魅せる」ことが大切と示しています。園独自にも「質の高い保育を実践する」「安全・衛生に十分配慮する」などの保育方針、および保育目標を掲げています。

### 《優れている点》

#### 1. 理念・目標・方針を職員で話し合い、保育の中で具体化しています

保育理念・保育方針などを、法人の施設長連絡会で確認しています。さらに、「豊かな心を持った輝いた大人を魅せる」ことで、子どもたちに、「大人になっても夢や希望がある」ことを伝えることができると考え、そのために、「子ども達が楽しむには、自分たちに楽しさがなければ伝わらない」ことを職員に示し、繰り返し徹底して確認・指導しています。

園長は、運営法人が掲げる方針を具体化するために、園独自の4つの運営方針と保育目標3項目を事業計画で明確にしています。さらに、職員が個人ごとに掲げている「業務遂行の目標」について、職員個々と話し合いを行い、目標を達成することが、運営法人が掲げる理念などを実現することにも繋がるように確認して徹底しています。

園長と個々の職員が十分に話し合い、目標を共有することによって、運営方針の「よい雰囲気職場を築く」になり、「保護者との信頼関係を築く」ことにつながっています。

## 2. 保護者との連携を大切にしています

運営法人の掲げる理念や信条を園全体で徹底することによって、保護者から「この園に預けて良かった」と感じてもらえる保育を目指しています。

保護者も保育に参加できる様々な機会を設けています。子どもの感性を育み、見る、触れるなどの機会となる魚の解体ショーや芋ほりなどを一緒に体験しています。また節分の鬼役、サンタクロスや園での不審者侵入訓練時の不審者役などに保護者に参加、協力してもらうなど、相互の連携が取れ良好な関係性が築かれています。保護者との信頼関係により、保育園の総合的評価においても98%の満足につながっています。

### 《努力・工夫している点》

#### 1. 職員のモチベーションを上げる職場環境を作っています

園の保育時間は通常より長く設定されていますが、有給休暇100%消化を目標に対策を講じています。現在は職員の残業はなく、有給休暇も100%取得の状況です。

これを実現するために、年間行事の準備を早い段階で開始して効率よく進めています。運動会は5月から、クリスマスは8月からメンバーを決めて計画的に実施しています。

また、フロアリーダーを置き、園独自で、その役割分担を明確にして管理しています。園長はクラス担任と十分話し合いを行い、フロアリーダーが各クラス担任への支援を行うように協力体制が出来ています。

さらに、職員が自ら立案した目標に沿って仕事ができることにしています。調理師・栄養士も、子どもの日頃の給食の様子を伝えたり、家庭での悩み相談を受け対応するなど、食事に関する情報提供を行い保育に反映しています。園全体の職員のモチベーションが良いことになり、定着率が高く、業務効率も良い環境が作られています。

#### 2. 施設の限られたスペースをより広く、かつ明るく活用しています

壁の少ない施設設備を活かして、フロア全体が見渡せて保育活動が把握しやすい環境を作っています。年齢ごとの保育室ではなく、高さの低い箱や手作りの仕切りなどで仕切られた年齢別コーナーのため、保育士同士や子どもたちにも刺激的な保育になっています。

また、1歳児の新規入園児は、0歳児からの継続園児とは別に仕切られたスペースで、落ち着いた生活リズムで保育を行っています。

## 《課題や改善することが期待される事項》

### 1. 保育園の専門性を地域の子育て住民へ還元することが期待されます

駅に近い立地のため、園の見学者が非常に多い状況です。その一方で住宅地ではない駅近くのビルの中にあるため、地域の方が訪れにくい環境にあります。その結果、保育相談などの実績が少なく、地域への支援が十分とは言えません。

現在の保育園で行うことは難しい状況ですが、実施方法を検討し、イベント参加など地域に出向くなどして保育園の専門性を活かした地域活動の実施が望まれます。また、同一法人による近隣の園と協力して地域支援を行うなど検討が期待されます。

### 2. 園長の後継者の育成が望まれます

園長と保育士との話し合いは十分に行われており、園長の強いリーダーシップが大きな成果を挙げています。フロアリーダーを2名配置し、園長の補佐的役割を担っていますが園長に続く主任がおらず、すべて園長に頼る結果となっています。

保育士が意見を出しやすい環境を進めるためにも、園長と保育士との間を埋める主任の役割りも必要となります。園長の役割の一部を担わせながら順次育成するなどの、計画を作成して実施することが望まれます。

## □ 評価領域ごとの特記事項

### 1. 人権の尊重

- ① 子どもたちの未来のために、「子どもを中心とした保育」の実践が第一ということを意識して保育をすることを理念に掲げて実施しています。子どもに対して、よい時はおおいに褒める、注意が必要な時は、わかりやすい言葉で簡潔に伝えるようにしています。保育士は、常に笑顔をもった対応を心掛けるようにしています。
- ② 子どもと職員が一对で話すときは、威圧感を与えないように事務所や保育室外の場所で話をします。一人で遊びたい子どもがいれば、移動可能ないくつものブロックでコーナーを作り、静かな空間で過ごすことができます。個人情報に関する資料は鍵のかかるロッカーに保管し、持ち出すときは、持ち出し表に名前、日時、場所を記入しています。個人情報の取り扱いでは、入園時に保護者と承諾書で確認をしています。

### 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 子どもの成長に合わせて、年間指導計画から、月案、週案と細分し子どもの興味、関心のあること、やりたいことを取り入れて目標設定をしています。結果を振り返り、評価、反省をし、子どもの自立に向けた支援をしています。
- ② 運営法人が毎月「調理担当の会」を開催しています。給食に関する情報を共有し参考にしながら、園での週1回のリーダー会議、調理師会が子どもの様子をふまえて、味付け、切り方、調理方法に工夫を重ねています。給食の前にボードを使ってメニューの説明をして、子どもが食材に関心を持ち、調理する人への感謝の気持ちが育つようにしています。
- ③ 午睡、休息は子どもの年齢や生活のリズム、活動内容、保護者からの情報や要望などに配慮し、状況に合わせて柔軟に対応をしています。眠らない子どもも横になって体を休めるようにしています。なぜ眠らないのか、眠らないのかを考え、保護者にも伝え連携を取って体調管理に反映させています。トイレトレーニングは、2歳児の6月頃から開始していますが、園での様子を細かく保護者に知らせて、情報交換を行うことによって、子どもの気持ちを尊重したトレーニングの実現を目指しています。

### 3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 健康管理マニュアルに基づき一人一人の健康状態を把握しています。入園時に提出される児童健康調査票で一人一人の既往症や予防接種の状況を確認し把握しています。嘱託医による健康診断を年2回実施し児童票に記録し、結果は医師の確認印のある「お知らせ票」を保護者に渡しています。発熱や体調不良時には保護者に迎えの要請をしますが、保護者の事情に応じて看護師が病院へ付き添うこともあります。子どもの症状により保護者や嘱託医と連絡をとるなどして最良の判断をしています。

- ② 感染予防マニュアルがあります。園内で感染症が発生した場合には速やかに、感染症の人数、症状、対応策を明記したものを掲示しています。また、保健衛生マニュアル、衛生管理に関するマニュアルがあります。次亜塩素酸ナトリウムを使うなど、消毒を徹底しクリーンチェック表で確認しています。おもちゃの消毒は毎日行っています。玄関、保育室、トイレなどの共有箇所は清潔に保たれています。
- ③ 災害対策、防止対策、不審者対応についてのマニュアルがあります。園内で事故の起こりやすい場所や注意を必要とする場所を分かりやすく表示したパネルを保育室の入口に掲示しています。地域の避難場所は日頃の散歩コースにも選んでいます。公園確認マニュアルがあり、子どもが安全に遊べるための確認作業を徹底しています。保育室に「午睡時観察ポイント」「ひきつけ・けいれん発作が起きたら」などを掲示し、安全に配慮し落ち着いて対応ができるようにしています。

#### 4. 地域との交流・連携

- ① 園長は、戸塚区の園長会、幼保小交流会などにも参加し、子育て支援に関する情報交換をしています。戸塚区こども家庭支援課、戸塚地域療育センター、警察署・消防署などとの連携も園内で分担して確実に行っています。所在地の自治会・ビルの管理組合がないため、ビルの近くに住むビルオーナーとの連携に配慮しています。
- ② 園の行事などに参加を募るチラシを園内に掲示しています。目につきにくい問題があり、この対策が模索されています。一方では、年間400名を超える見学者が訪れています。園長とフロアリーダーが対応をしています。園所在地がJR戸塚駅のすぐ近くにあるという立地条件の良さもプラス要因と考えられます。
- ③ 園として地域交流・連携を進めるにあたって、年間に訪れる多くの園見学者に対しての、パンフレットの印刷・配布を実施し、園としてのメッセージを伝えることを期待します。保育理念、保育目標、方針を伝えることでより園の理解を広める機会になり、同時に園と地域交流のスケジュールなども含めてPRすることで地域との連携強化に繋がれることが期待されます。

#### 5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① グローバルキッズ戸塚第二保育園の理念は「豊かに生きる力を育てる」とし、園目標に「元気で明るい子ども」「仲良く助け合う子ども」「自分で考え、自分で行動できる子ども」を掲げています。子どもたちが豊かな人間性を培い、たくましく生きるための健康や体力などの資質や能力を育んでほしいとする思いです。法人本部が統一する経営理念・行動指針（クレド）・保育理念・保育目標・保育方針を掲示したカードを全職員が携帯し、共通の理解のもとで保育活動に取り組んでいます。
- ② 入社時に提出する誓約書、就業規則に規範や倫理が明文化されています。同時に、入社時に非常勤職員も含めて全員に配布している「保育基本マニュアル」にも守るべきルールが明確に示され、職員に徹底されています。



## 6. 職員の資質向上の促進

- ① 運営法人が人材育成計画を策定しています。職員の資質向上に向けた目標として非常勤職員以外の全ての職員が、年度初めに本人の「目標設定」を行い、目標に合った研修や講習会に参加できる体制が整えられています。園長は、中間期・後期など年に2、3回本人と面談をし、計画的に進められているかどうか確認をしながら目標がぶれないように支援をしています。年度末には達成度の評価を行い、職員の人材育成につなげています。保育士の満足度や要望など園長は個別面談から把握し、保育現場でのそれぞれの責任を明確化し、意欲につなげています。
- ② 園内研修は、定期的に行われています。運営法人の看護師が健康指導や嘔吐処理法など非常勤職員も含めた実地研修を行っています。研修後は、「研修報告」を作成し、全職員が共有できる機会を作り、現場での保育活動に活かしています。園長は報告書を確認し、研修の評価や見直しなどを常に行い、職員それぞれに合った資質向上に努めています。
- ③ 非常勤職員の内部研修は、必要に応じて正規職員と変わらず実施しています。非常勤職員の指導担当は各フロアリーダーやクラスリーダーが行い、双方の理解を得るために非常勤職員間の非常勤のチーフリーダーも決めています。

## 分類別評価結果（および理由）

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

### I 利用者本人の尊重

#### I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① グローバルキッズ戸塚第二保育園の理念は「豊かに生きる力を育てる」とし、園目標に「元気で明るい子ども」「仲良く助け合う子ども」「自分で考え、自分で行動できる子ども」を掲げています。子どもたちが豊かな人間性を培い、たくましく生きるための健康や体力などの資質や能力を育ててほしいとする思いです。法人本部が統一する経営理念・行動指針（クレド）・保育理念・保育目標・保育方針を掲示したカードを全職員が携帯し、共通の理解のもとで保育活動に取り組んでいます。
- ② 運営法人で統一した保育課程を基に、園では発達年齢に合わせた年間指導計画・月間指導計画・週案・日案に、子どもたちの興味や関心などに主体性も組み入れた指導計画を作成しています。作成は担任保育士を中心とする全職員がかかわり、幅広い意見を出し合い、柔軟性のある内容にしています。保護者へは、入園時や年度初めに今年度における保育活動を詳しく説明しています。

#### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 入園時には、保護者に面談シートによって情報を確認しています。生育歴・家庭での状況・病歴・予防接種の記録・睡眠・アレルギーの有無や体調の良し悪しの見分け方など漏れのないよう細かな情報を得ています。特に0歳児の入園面談には、園長はじめ、担任保育士・看護師や栄養士も同席し、専門的な配慮の必要性や園としての支援方針も説明しています。ならし保育が必要な子どもには、保護者に詳しく説明をし、子どもが安心して過ごせるよう支援をしています。新入園の1歳児について、0歳児からの持ち上がりの1歳児クラスと区分して、一日も早く園の雰囲気になれるよう細心の注意を払っています。また、心理的よりどころとしての持ち込みは、危険性のないタオルだけにしています。
- ② 0、1、2歳児の毎日の連絡は複写式のノートに細かく記入しています。3、4、5歳児には必要な時のみ連絡ノートに記入しますが、送迎時に園での子どもの様子を保護者に知らせています。進級や新しい園児が入園してきたことで在園児の環境に変化が伴いますが、観察しながら配慮の必要な子どもには寄り添い、不安や動揺を与えないよう新入園児や在園児にも平等に見守る配慮をしています。
- ③ 運営法人の保育課程を基に子どもの発達や状況に応じた年間指導計画、月案、週案が作成されています。配慮の必要な子どもの指導計画には保護者の意向も反映した計画を作っています。各計画案には配慮事項や保育士の評価や反省も記入され、PDCAを踏まえながら計画の見直しを行っています。作成にあっては、担当職員や園長も含め、適切な指導計画の作成に努めています。

### I-3 快適な施設環境の確保



- ① 屋内・屋外ともに清掃マニュアルに基づいて常に清潔にしています。おもちゃ、椅子、テーブル、床や壁などは次亜塩素酸ナトリウムの消毒剤で消毒を行っています。清掃後は各清掃チェック表に確認のサインを入れています。夏季・冬季の管理目標温度や湿度、外気温差を掲示し、エアコン・加湿器などで適切な温湿度になるようにしています。また、子どもたちの散歩中に外気を取り入れ、屋内の空気循環も行っています。
- ② 沐浴・温水シャワーの設備がありますが、トイレ前には、保育士も床に腰をおろして話ができる広いスペースが確保されています。お漏らしや遊びの途中でも必要に応じて手足を洗うなど常に子どもたちが快適に過ごせるように努めています。毎日の清掃や安全管理は担当保育士と看護師が行っています。
- ③ 0歳児は独立した保育室のため、食べる、寝るのコーナーはしっかり確保されています。1歳児以上は、フロアを年齢ごとに背の低い棚や手作りの仕切で区分しているため、食べる・寝るは、各年齢同じコーナーできれいに清掃してから、それぞれの機能空間として使用しています。登園時から朝の年齢別保育活動が始まるまでと延長保育では必ず異年齢の子どもたちが、同じフロアで自由に遊ぶ交流の場を確保しています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ① 運営法人として保育方針に「子どもの安全と安心を基本として、成長と個性に応じた多様性のある保育をする。」と掲げています。この方針に沿って、全員の個別指導計画を作成して実践指導しています。個別計画の策定にあたって、重要な部分として、トイレトレーニング、離乳食提供、アレルギー対応児、他に配慮を要するか、または障がい児を対象に、夏などは、保護者を交えて話し合いを行い、同意を得ています。
- ② 「一人一人の狙いを具体化させ」児童票には、年齢ごとに「発達経過記録」があり、時間が経過するごとに「子どもの姿」「保育者の配慮」「次年度への参考事項・特記」欄が設定されており、職員が記録し易い工夫が行われています。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① 平成27年度には自閉症スペクトラム症1名が在籍、現在はアレルギー食対応1名が在席しています。110名規模の保育園としては、特に配慮を要する子どもが少ない現状ではあります。現時点で、特に配慮を要する子どもではありませんが、保護者とも協力して戸塚区地域療育センター、巡回相談などの配慮をすべきか話し合いを行っている子ども1名がいて、その経過はクラスノートに記録して対応を話し合っています。
- ② 障がい児（身体障害、自閉症スペクトラム症）受入れの為に環境整備として、特に問題があるとすれば、トイレ・シャワー室に向かう時の数段の階段があり何らかの配慮が必要かと思われれます。保育内容の配慮に関しては、戸塚区地域療育センターに通っている子どもがいるため、職員側での研修受講も視野に入れていきます。
- ③ 危機管理マニュアルがあり、一日に数回の身体チェック（登園、着替え、シャワー、寝起き時等）で傷・あざ等の発見があれば、写真にも記録し、園長に報告、運営法人への報告が行われています。運営法人では、これらの対応に関する研修が用意されており、受講を可能な限り参加させています。

- ④ 「アレルギー対応マニュアル」が用意され、マニュアルのポイントを抽出したチェックシートを作成、壁に掲示しています。提供時には、色付きの専用トレイに乗せ、食器、名札を用意、席も別に配置、保育士が調理士から直接受け取り確認しています。さらに、園長がチェックしてから、まとめて配膳し、誤食を未然に防止しています。現在、園としては、小麦粉アレルギーのある子どもが1名いますが、マニュアルの手順に従い、チェックを行った上で、配膳しています。
- ⑤ 外国籍の子どもは3名ほど在籍していましたが、現在は1名です。文化や生活習慣の違いは、その子どもの、国柄、その国の美味しい食べ物などを、積極的にとらえて保育士が子どもたちに紹介することで対応しています。現在在籍の子どもには、兄が日本語にも堪能なため大事なことは、兄にも伝えていますが、担任の保育士は、弟にも日本語でも十分話ができるようにさせたいと、熱意をもって対応しています。保育園で行う英語のレッスンがありますが、この子どもにとっても楽しい時間になっているようです。

#### I-6 苦情解決体制



- ① 重要事項説明書に苦情担当者や連絡機関が明示されています。園の入口玄関には、苦情の受付担当者、運営法人の受付窓口、第三者委員などを掲示しています。
- ② 苦情処理については、マニュアルがあり運営法人とも密接な連携の下で、誠意を持って迅速な対応を心掛けています。ただし、園としては苦情らしきものがあれば、園長がその日のうちに保護者に連絡する方針を、全職員に徹底しています。この方針が、保護者との信頼関係をより強化しています。

## Ⅱ サービスの実施内容

### Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 各保育室のオープン棚には年齢に合わせた高さにおもちゃが収納されています。幼児クラスでは、絵本・パズル・積み木・ままごとセット・お絵かきボード・教材道具などが用意されており、自由に取出せるようにしています。子どもたちの遊びの様子を見ながら、1ヶ月に1回おもちゃの入れ替えをクラスリーダーが行い、成長に合わせることや飽きない工夫をしています。年齢に応じた素材、大きさ、使用頻度、劣化などには注意を払っています。保育士は、子どものやり取りを見守り、遊びに取り掛かれない子どもには、話し掛けるなど、一人一人に寄り添い、どのようなおもちゃに関心、興味をもっているかを考えて援助をしています。
- ② 各保育室には紙や布で作られた、子どもの腰の高さ程のブロックが並べられており、一つ一つが自由に移動できるため、活動内容に応じて空間の工夫ができます。一人で静かに遊びたい子どもには、いくつかのブロックでコーナーを作り、落ち着いて過ごす事ができます。クラスごとの保育室の仕切りが収納を兼ねた低めの棚になっているため保育士は全体の活動を見渡し把握して、子どもへの対応ができています。
- ③ 保育園がビルの2、3階にあることもあり、動植物の飼育はしていませんが、特に散歩の時には、身近な自然について一緒になって調べるなど、子どもの気づきや発見に共感しながら興味や関心が深まるような配慮をしています。季節ごとの花や葉、四季の変化に触れる機会をつくるようにしています。散歩の途中で地域の人に自発的に挨拶をかわすようにしています。魚の解体ショーや芋ほりなどで見て、触れて、子ども自身の感性や興味が伸びていくような活動を取り入れています。
- ④ 園長が自ら他園に表現活動の研修に参加し、幼児クラスのリトミックで実践をしています。トンボ、カエル、トンビなどを表現し、乳児は音楽に合わせてダンスをするなど自由な表現活動につなげています。七夕やクリスマスの飾りものは、各々の自由な発想で造形作品の製作につなげています。異年齢交流では、リズムダンスを合同で楽しむことや、公園に行った際には、ゲームと一緒に楽しむなどの機会をつくっています。クラスごとの仕切りが低いため、子どもたちは年齢の違うクラスの様子を見たり、隣のクラスに遊びに行ったりする子どももいますが、保育士は見守ります。子どものトラブルでは、子ども同志の解決策も見ながら、怪我をさせないところで仲裁に入る姿勢でいます。
- ⑤ 散歩に行き、積極的に体を動かし体力をつけるようにしています。「お散歩マップ」を作成しており年齢に合わせて歩く距離や環境を考えてコースを選んでいきます。夏には年齢に応じてプール遊びの活動を積極的に取り入れています。虫さされ対策には、自然由来のハーブを使った虫除けスプレーを使用しています。

### Ⅱ-1 保育内容【生活】



- ① 幼児クラスは交代で給食当番を取り入れ年齢に応じて配膳や片付けをします。ボードを使ってメニューの説明をし、給食やその過程に関心が持てるように工夫をしています。給食の途中で調理師や管理栄養士がクラスを回り様子を伺いながら楽しい雰囲気づくりもしています。夏祭りでは保護者とトウモロコシの皮むきをし、食材に触れる体験をしています。卒園児のお別れ会などの行事では、3歳から5歳の子どもと一緒にバイキング形式を取り入れ、思い出の食事を工夫をしています。調理師・栄養士・保育士で子どもたちの発達年齢に合わせて、大きさや重さを1年1回チェックしています。

- ② 運営法人が毎月「調理担当の会」を開催しており、各園の喫食状況や調理の情報など共有しています。メニューや食材は運営法人で決められますが、味付けや切り方などの調理方法は園の調理師が子どもの喫食状況を直接把握して、工夫を重ねています。離乳食も含め給食会議を週1回行い検討しています。
- ③ 食物アレルギーの対応は常に注意をおき、安全を心掛けています。アレルギーで食物に配慮が必要とされる子どもがいれば、保護者に医師の指導書を提出してもらい、毎月1回、調理師・担当保育士・園長・保護者で献立の確認、相談を行っています。確認された献立は毎月医師にも渡し確認しています。子どもに提供される給食は皿ごとにラップをかけ、除去食を明記して色の付いたトレイにのせます。担当保育士が調理師から受け取り園長も確認を行った上で、別テーブルの子どもに配膳しています。
- ④ 毎月配布される「献立表」には、カロリーと、それぞれの食物がどんな栄養になるのかが表示されており保護者の参考になっています。「給食だより」では季節ごとの食物と健康に関わる情報、美味しく食べるための工夫やレシピを紹介しています。保育室の入口に毎日、昼とおやつの給食サンプルを展示しています。保護者の給食試食会は、参加者が限定され、試食後に退園する保護者を見て不安定になる子どもがでるなどの理由で現在は中断しています。試食会などで保護者との連携方法を模索していますが、夏まつりでは食事相談会を設け、保護者に日頃の子ども給食の様子や偏食などの相談に対応しました。
- ⑤ 子どもの体調の様子にあわせ、午前睡や午睡の時間を取るなどその日ごとの対応をしています。静かな音楽を流し、絵本の読み聞かせをして穏やかな眠りに入るようにしています。音楽は様子を見て消しています。午睡チェック表を使い0才児は5分毎、1歳児は10分毎に呼吸チェックをして記録をしています。眠れない子どもには、横になって体を静かに休めるように保育士は配慮をしています。何故、眠らないのか、その理由を考え、保護者にも様子を伝え家庭での情報も受け、一人一人の午睡や休息に対応しています。
- ⑥ トイレトレーニングは保護者との連携を取り、その子に合った時間配分でトイレに誘っています。おむつを外すには保育園と家庭では違いがあることや、一人一人の状況を配慮しながら対応しています。公園では目に入らない場所で排泄の対応をしています。排泄の失敗で回りの子どもには、保育士は、そっと気配りをして、子どもの心を傷つけないように心掛けています。

## Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 健康管理マニュアルに基づき一人一人の健康状態を把握しています。入園時に提出される児童健康調査票で一人一人の既往症や予防接種などの健康状況を確認しています。嘱託医による健康診断を年2回実施しています。その結果は、児童票に記録し、異常の有・無に医師の確認印が記された「お知らせ票」を保護者に渡しています。身体測定は毎月、身長・体重を測定し児童票・連絡帳に記録し成長を確認しています。食後の歯磨き指導は毎週曜日を決めて看護師が年齢に合わせて実施しています。
- ② 子どもに37度5分以上の発熱が見られる場合は保護者に連絡を取り、対応を確認します。熱が上昇している場合、嘔吐、下痢がある場合は保護者に迎えなどの対応を話合います。子どもに体調不良が見られた場合、主に看護師が保護者や嘱託医に連絡を取り対応をしています。保護者の事情により病院に付き添うこともあります。子どもの症状により的確な判断をしています。
- ③ 感染症マニュアルがあります。感染症が発生した場合は速やかに、感染症の人数、症状、対応策を明記したお知らせを掲示しています。保育室には「体調のよし、わるし」の掲示で子どもの様子の変化を診るポイントが確認できるようになっています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 保健衛生マニュアル・衛生管理に関するマニュアルがあります。おもちゃの消毒は徹底して毎日行っています。衛生管理に関する研修があれば参加をして対処方法を学び、実践に反映させています。園内の玄関、保育室、トイレなどの共有箇所は清潔に保たれています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 園内で事故や怪我の起こりやすい場所、注意をする場所を図面に分かりやすく表示し保育室の入口に掲示しています。保育中に事故や怪我が生じた場合や些細なアクシデントでも保護者に発生した状況や対応を報告しています。保育中に子どもの身体に外傷がないか注意をして見るように心掛けています。着替えや午睡などで小さなことでも気づきがあれば、保護者に知らせ、その日のうちに解決をするようにしています。
- ② 災害対策・防止対策・不審者対応についてのマニュアルがあります。災害対策カードには、一斉メール配信システムや災害伝言ダイヤル 171 を使った訓練や避難所を明記しています。毎月1回の避難訓練を実施しています。地震対策では、保育の細かい場面を想定し活動内容に対応した避難方法を明記しています。脅迫電話、不審者侵入、近隣での事故、盗難なども想定した対応策も備えています。日頃の散歩コースにも避難場所を選んで歩くようにしています。子どもの引き渡し訓練では1名を除き全ての保護者で行うことができました。年2回の不審者侵入訓練では、戸塚警察署より侵入者想定の実演を受け見本としています。他でも不審者役で保護者の父親が参加し協力を得ています。備品等の転倒防止対策をしています。保育園のあるビルの近くにオーナーが住んでいるため、地域の情報を得るなど連絡が取れるようになっています。
- ③ 保育室には「午睡時観察のポイント」「ひきつけ・けいれん発作が起きたら」を掲示し、安全に落ち着いて対応できるようにしています。「プールに入る時の注意点」を掲示しています。散歩や、公園で遊ぶときは、遊具や危険なものが落ちていないかなどの、安全確認マニュアルがあります。

## II-3 人権の尊重



- ① 理念にも掲げている、子どもたちの未来のために、「子どもを中心とした保育」の実践が第一ということを常に意識をして保育をするように心掛けています。保育士が保育活動を通じて「豊かな心を持った輝いた大人を魅せる」ことで子どもたちが大人になっても夢や希望が持てるようになると考えて行動しています。言葉遣いでは、子どもに対して「ちゃん」「くん」をつけて呼びます。正しい話し言葉を使い丁寧にゆっくりと話し、よい時はおおきに褒め、注意の必要な時は、わかりやすい言葉で簡潔に伝えるようにしています。常に笑顔をもった対応を心掛けるようにしています。
- ② 子どもと職員が一对一で話すときは、威圧感を与えないように事務所や保育室外の踊場で話をします。一人で遊びたい子どもがいれば、移動可能ないくつものブロックでコーナーを作り、静かな空間で過ごすことができます。個人情報に関する資料は鍵のかかるロッカーに保管し、持ち出しするときは、持ち出し表に名前、日時、場所を記入しています。個人情報の取り扱いでは、入園時に保護者と承諾書で確認をしています。

## Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- ① 各クラスに保育方針を掲示して保護者が見ることができるようにしています。入園時の保護者説明会で配布される重要事項説明書に保育方針が記載されており確認をしています。保護者会は5月、懇談会は1月に行っており、ほとんどの保護者が参加しています。意見交換も行い、進級に向けて運動の活動を増やして欲しいなどの意見も挙がりました。個人面談は保護者から相談があれば園長が速やかに対応し、問題解決をしています。面談記録を作成し保育での配慮に心掛けています。
- ② その日の保育活動の様子は、ボードで紹介して保護者に分かるようにしています。卒園式では子どもが過ごしてきた保育園での生活の数々の写真をスライドで流しています。毎月発行される園だよりでは、行事予定、月ごとのクラスの目標、取り組みの様子を伝えています。
- ③ 年間行事予定を配布しています。未定の部分は決定次第すぐに掲示しています。園行事の遠足・敬老の日・夏祭り・クリスマス発表会の保育参加にはほとんどの保護者が参加しています。保護者会参加できなかった保護者には、掲示や直接話をして伝えています。
- ④ 年2回の運営推進会議には、保護者の代表も参加しており、意見交換や情報を得ることが可能です。



## Ⅲ 地域支援機能

### Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 園の行事などに参加を募るチラシを園内に掲示していますが、目につきにくく参加につながりにくい状況があり、この対策が模索されています。また、園の専門性を活かした子育て支援サービスとしては、園がビル内にあり園庭がないこと、一時保育の受け入れには、人数の枠が少ないことなど施設の設備的な問題も含め、実現できていない状況です。現在の環境からでも出来る支援サービスを検討し、実現していくことを期待します。
- ② 園長は、戸塚区の幼保小の交流会、戸塚区園長会議などに出席し、子育て支援に関する情報交換を行っています。
- ③ 地域の和菓子店・接骨院・スポーツジム・ビルオーナーなどハロウィン祭りでは協力を得ていますが、地域住民の参加にまではつながっていません。園の取り組みを更に知ってもらうための情報提供の工夫が望まれます。

### Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 園は見学者が多く、月によっては30名近くの来園者があります。見学者に育児に関しての相談がある場合は見学時に受けていますが、地域住民への子育て支援として育児相談日を設けたり、園舎等を開放するなどの受け入れ体制はできていません。園は保育の専門である保育士・看護師・栄養士・調理師が常勤している特性を活かした電話での育児相談から始めたいと考えています。園として出来る支援サービスの方法を全職員で意見を出し合い、育児相談の拠点地となる相談機能の構築が期待されます。
- ② 戸塚区子ども家庭支援課、戸塚地域療育センター、横浜医師・歯科医師会、近隣の医療関係、戸塚消防署、戸塚警察署など関係機関・団体などの一覧表が作成され、職員は必要に応じて利用することができます。特に連携の必要な機関とは園長が担当窓口として情報交換や交流会に出席しています。しかし、地域子育て世代への情報発信が少ないために子育て支援サービス提供が十分に活動していません。電話相談を始めるにしても日常から支援サービスに関連する機関や団体への情報や交流など幅広い連携体制が期待されます。

## IV 開かれた運営

### IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 卒園式には、すぐ近くに居住しているビルオーナーが地域代表として出席し、お祝いの言葉をいただいています。職業体験ボランティアも受け入れています。幼保小交流会との関係から、戸塚小学校1年生との交流会が開催されています。
- ② 戸塚区役所が開催している「子どもたちための展覧会・展示会」には、園として、積極的に参加しています。5歳児クラスは、小学校入学を前にして、小学校入学体験も行っています。

### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 運営法人としてホームページを運営して、地域や関係機関に情報を提供しています。ここでは、サービス内容詳細、職員体制、料金などを正確に表示しています。しかし、毎月多数の園見学を受け付けていますが、見学者への園のパンフレットなどの配布などは行われていません。
- ② 年間400名を超える見学者が訪れています。園のPRに繋がる大切なお客様として、園長・フロアリーダーが対応しています。園見学者に、園としてのメッセージを正しく明示したパンフレットの印刷・配布をされることを期待します。

### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① 専門学校の学生をボランティアとして受け入れています。受け入れの担当は園長とフロアリーダーが行いますが、手順はマニュアルが完備されています。また、中学校の職業体験で毎年10～20名を受け入れています。
- ② 鎌倉女子学園、聖徳学園等から累計で20名ほどの実習生を受け入れています。受け入れのためのマニュアルが用意して、実習生受け入れには本人の目的に応じた効果的な実習となるように事前に話し合い、実習期間には、活動保育におけるアドバイスをするなど実習生育成に努めています。終了時には関係者も集まり反省会も行い、次の実習生受け入れにつなげています。今年度は1名を計画して受け入れ、園長とフロアリーダーが支援します。

## V 人材育成・援助技術の向上

### V-1 職員の人材育成



- ① 運営法人が人材育成計画を策定しています。必要な人材の補充はすべて法人でまとめ、各園に人材を配置しますが、非常勤職員に関しては園長が面接をし、採用の決定をしています。職員の資質向上に向けた目標として非常勤職員以外の全ての職員が、年度初めに本人の「目標設定」を行い、目標に合った研修や講習会に参加できる体制が整えられています。園長は、中間期・後期など年に2、3回本人と面談をし、計画的に進められているかどうか確認をしながら目標がぶれないように支援をしています。年度末には達成度の評価を行い、職員の人材育成につなげています。
- ② 園内研修は、定期的に行われています。法人の看護師が健康指導や嘔吐処理法など非常勤職員も含めた実地研修を行っています。また、園外研修会や大会参加などには、職員本人の希望も含めて積極的に参加することができます。研修後は、「研修報告」を作成し、全職員が共有できる機会を作り、現場での保育活動に活かしています。園長は報告書を確認し、研修の評価や見直しなど常に行い、職員それぞれに合った資質向上に努めています。
- ③ 非常勤職員の内部研修は必要なものは、正規職員と変わらず行っています。非常勤職員の指導担当は各フロアリーダーやクラスリーダーが行い、双方の理解を得るために非常勤職員間の非常勤のチーフリーダーも決めています。会議などの結果報告や必要な情報も職員同様に共有し、それぞれの役割を認識し、園運営を支える重要な立場として保育に当たっています。

### V-2 職員の技術の向上



- ① 職員一人一人の自己評価は年度初めに行われています。また、年間の指導計画に基づいて月間指導計画、週案、日案の振り返り・改善を要するなど個々の自己評価も記入でき、クラス会議や職員会議で話し合い、次の指導計画の作成に反映しています。障がい児保育に関しては、戸塚区こども家庭支援課や戸塚地域療育センターの助言や外部研修会に参加するなど職員の技術向上の機会が設けられています。
- ② 職員の自己評価を基にして、職員会議や研修会などで意見をまとめて課題を把握し、園としての共通意識を深めることを期待します。この検討が、保護者や地域に公表する保育所としての自己評価にも繋がります。

### V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 保育士の適正・能力・経験年数などに応じた役割に本人の目標設定も加味した期待水準が明文化されています。保育士の満足度や要望など園長は個別面談から把握し、保育現場でのそれぞれの責任を明確化し、意欲につなげています。
- ② 目標設定における研修会参加は、保育士の要望を多く取り入れています。研修結果は本人の自己評価も踏まえて結果を評価し、保育に活用する機会を取り入れ、モチベーションを高めています。

## VI 経営管理

### VI-1 経営における社会的責任



- ① 入社時に提出する誓約書、就業規則に規範や倫理が明文化されています。同時に、入社時に非常勤も含めて全員に配布され、教育が行われている「保育基本マニュアル」にも考え方が明確に示され、徹底されています。
- ② ゴミの分別・減量には全員で取り組んでいます。保育士が出すゴミは自身で持ち帰るなどが徹底されています。同時に子どもたちが使うおもちゃにも、安全面に細心の注意を払った上で牛乳パックが有効に活用されています。

### VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 保育理念、保育目標、保育方針を含む「クレド」は、保育園に掲示しています。「豊かな心を持った輝いている大人を魅せる」ことができるようにするといったレベルの高い目標に向かって進んでいます。園では、この目標を実現するためには、人事制度の中心にある個人別の「目標管理」と併せて、話し合いが行われています。園長が職員と徹底した面談を行い、対策を計画し、目標達成度を評価し、次のステップにつなげる努力を続けています。
- ② 園としての意思決定には、園長、フロアリーダー、クラスリーダー、保育士、看護師、栄養士などを参加させ、組織を挙げて取り組む仕組みがあります。同時に、エリアマネージャーにも参画を求め、運営法人の意向にも配慮します。園は保護者との意見交換を行っていますが、園との話し合いの機会について一部不満を感じている保護者もいる状況です。
- ③ スーパーバイザーとしての役割が果たせる人材の育成は、運営法人として、あるいは園としても重要事項です。2名のフロアリーダーにはフリーの立場でフロア全体を見渡し、職員同士の良好な関係維持のための助言や、園長への補佐に活躍してもらっています。今後は園長の代理を担当するような主任クラスの育成が望まれます。

### VI-3 効率的な運営



- ① 毎月、運営法人で開催されている全国施設長連絡会の議論は、直後に開催する職員会議で徹底しています。直前にも、おもちゃの一部にはがれがあるものを見逃して格納し、再び使用した時にも気づかずにいたため、手に擦り傷が発生する事故が発見されました。このような事故を未然に防ぐための対策の詰めを検討しています。重点改善課題は職員会議で徹底しています。
- ② 園としての事業計画と事業報告書は、エリアマネージャーの協力も得て、毎年作成しています。これと同様、園としての中期計画（3年後）が作成され、運営法人にも報告しています。園の運営推進会議には福祉業務の専門家である大学の先生も参画しています。

## 利用者本人調査

### 調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス：10名

1歳児クラス：20名

2歳児クラス：20名

3歳児クラス：20名

4歳児クラス：19名

5歳児クラス：20名

### 調査概要

#### 《0歳児クラス》

(食事・授乳)

授乳が終わり、室内には静かな音楽が流れて、それぞれ自由遊びの時間でした。リーダー保育士と2名の保育士で声を掛けながら自由遊びに移行しています。

おもちゃは柔らかい素材のもので、ブロックや、重ねる皿を用意しており、握ったり、重ねたりを繰り返して遊んでいます。ブロックが何段も重なった様子に「できたね」と拍手をして一緒に喜び、子どもも笑顔でいっぱいです。保育士は、子どものはいはいをする先を見て、おもちゃを踏まないように拾ってよける配慮をしています。つかまり立ちで棚のおもちゃを取りたい子どもには「上手に立てたね」と声をかけながら体を支えています。遊びに入らず、ぐずっている子どもを抱きながら遊びの様子を見せています。保育士の膝を枕にして甘えている子どもの背中をとんとんと優しくたたいて安心させています。ベビーラックで休む子どもは、お気に入りのおもちゃを握らせてもらい、足と手を動かして嬉しそうに喜んでいます。

#### 《1歳児クラス》

(午睡)

それぞれのお決まりの場所でお腹にバスタオルをかけてぐっすり眠りに入っています。

カーテンが降ろされ、程よい暗さの中で静かで落ち着いた午睡環境です。そんな中でも手足を動かし、小さな声をあげながら寝付けないでいる子どもが一人いました。保育士はそばに座ってトントンしたり、撫でたりしています。しばらくして落ち着いたようで眠りにつきました。

## 《2歳児クラス》

## (おやつ)

午睡が終わり着替えをし、おやつを食べる準備をしています。保育室には軽快な音楽が流れています。起きた子どもからそれぞれのロッカーへ着替え袋を取りに行き、トイレに近いコーナーで着替え始めています。保育士は排泄の誘導をしています。着替えの途中に、おもしろしをしたようで、ぐずっている子どもに「びっくりしたねー。大丈夫だよ。」と保育士は優しく声を掛け、そっとトイレに誘導していました。着替えはゆっくりで、ひっくり返しに着たり、重ねて着たりといろいろですが一人一人のペースに合わせて見守り「こっちが前だよ。」と、声を掛けたり、着やすいように置いてあげています。3人まだ起きない子どもがいましたが、無理に起こしたりはせずにそのまま様子を見守っています。保育士は「着替えが出来たらおやつですよ。今日はみんなの好きなドーナツだよ。」と声をかけて着替えの進みを見守ります。なかにはシャツに頭を通して手も通せる様子を見てもらい自慢げにしている子どももいます。着替えの終わった子どもが元気に近づいて来て「ドーナツ」と言って楽しみな様子を元気に伝えるにきました。

## 《3歳児クラス》

## (午前の活動)

午前の活動では、クレヨンを使い画用紙に思い思いの絵を描きました。自由に好きな色、好きな形、何色も色を重ねて夢中になって描いています。なかには、「おばあちゃんの顔だよ」と、教えに来る子どももいました。なかなか絵を描く作業にとりかからない子どもが一人いましたが、保育士が側に付いて、好きな食べ物や、植物の絵を描いて見せ、興味を持たせる工夫をしています。「良く描けたね」「お母さんが来たから見せようね」と声をかけながら、完成した子どもから手洗いへの誘導をしていました。二人の最後まで残って夢中に描き続けている子どもに「また、後で続きを描こうね」と気持ちを損ねないように切り替えを誘っていました。

## (食事)

二人のお当番さんは、保育士が用意したお茶とスプーンを一人一人のテーブルに配ります。保育士は、椅子に座って配膳を待つ子どもたちに「用意が出来たらメニューの発表をしますね」「さあー、スープの中には何が入っているかなー楽しみね。」との声掛けに、なかには、皿に顔を近づけて匂いを嗅いだり、「ふーっ」と、中身を探ろうとしたりと、給食をととても楽しみに待っています。

ボードに書かれたメニューの説明をし「いただきます」の言葉で食事が始まります。先に食べ始めるテーブルの子どもたちもいますが、保育士は子どもたちのペースを見守っています。パンのおかわりは、元気に何人もの子どもが手をあげて給食が進んでいました。

#### (別の日の食事)

食事の準備が始まります。「今日は台風が来たんだよ」「昨日は公園に虫取りに行ったんだよ」とお話をしてくれる子どもがいます。当番の子どもが配膳のお手伝いを始めました。お箸、フォーク、ご飯を一つずつ配っていました。汁とおかずは保育士がお手伝いをして配っています。当番さんから「手を合わせてください」「一緒に」「いただきます」とご挨拶。保育士が「お箸を持ってください」「出来たかな」「上手だね」「食べていますね」と声を掛けて、楽しくいただく雰囲気を作っています。今日のお昼は、年に数回あるアレルギー食材の該当がない日にあたりました。しかし、配膳までは、日常通りの手順でチェックした後、机を異動し、みんなと一緒に食事ができることになり、お話も弾んでいました。

#### 《4歳児クラス》

##### (午前遊び)

この日は台風の影響で小雨が降ったり、止んだりの安定しない天気のため、9月に催される運動会の練習が始まりました。

4才児クラスの出し物はバルーンです。子どもたち自身がみんなで力を合わせて楽しめる演目として「バルーン遊び」が決まり、安全で元気に「バルーン遊び」楽しんでいます。

19名の4才児がカラフルな円形のバルーンの端を輪になって持ちます。担任の合図や音楽に合わせてつぼめたり、広げたり、上にあげてその間にバルーンの下にもぐったり、寝転んで足だけ出したりみんなに合わせて楽しんでいます。夏期プールや散歩に行けなかったこの日は、運動会の練習で刺激的な活動日になりました。

#### 《5歳児クラス》

##### (運動会の練習)

運動会で披露するリズムに合わせたダンスをチームごとに練習していました。音楽に合わせてリズムカルに動き、楽しそうに飛び跳ねていました。なかなかリズムに乗れなかった子どもがいましたが、チームのみんなで声を掛け、応援している姿がありました。励まされた子は少し元気を取り戻し、リズムに合わせてるように一生懸命に体を動かし、何とかリズムに合わせて笑顔が出ました。保育士は、子どもたちと対面になり笑顔を絶やさず見本のダンスをしています。子どもを見守る姿勢で、あまり言葉は発せず温かく見つめるまなざしを向けていました。練習が一段落すると今度は絵本を取りだして物語を読み聴かせが始まり、子どもたちは輪になって集まり、先生のお話に聞き入っていました。

## (食事)

保育士から「それでは食事の準備を始めます。当番さんから手洗いに行きましょう」と声がかかりました。当番さんが一斉に洗面所に向かいます。その間に、保育士が机の配置と清掃をし、食事が積まれたトレイがクラスの中に運ばれてきました。当番さんが、おかずやスープ、主食、お箸類などを各テーブルに配っていきます。その間に、当番以外の子が手洗いを済ませてクラスに戻ってきます。

配膳を済ませた当番さんが自分の席に座り、大きな声で「いただきます」をして食べ始めました。自分の席に着いた子どもから順番に「いただきます」と声を挙げていました。

献立の説明は、テーブルごとに食べ始めたところで保育士が説明をしています。それぞれのペースで食事を行い、次々にお代わりをもらいに行っていました。

## 〈午後の遊び〉

保育士のピアノに合わせて椅子取りゲームをしています。ピアノの伴奏に合わせて楽しそうに歩いています。いよいよ二人が残りました、他の子どもたちが二人に声援を送っています。ピアノの伴奏が始まり、二人も緊張している様子です。ピアノの音が止まり、最後の椅子には男の子が座りました。他の子どもたちは最後まで残った二人に拍手を送っていました。

最後に椅子が取れなかった子はガッカリした様子で座りこんでしまいました。他の子どもが激励の声を掛けていましたが、ついに涙がでてきました。保育士は「勝ちたかったね。今日は負けたけど、また次は頑張ろうね。」と声を掛けています。その様子を気にしていたようだった椅子を取れた子どもにも「大丈夫だよ。一番になったことは、よいことだよ。」と保育士がそっと声掛けをしていました。



## 家族アンケート結果

### アンケートの概要

#### 1. 調査対象

利用者の全家族

#### 2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

#### 3. アンケート発送数等

発送数：	87 通	返送数：	40 通	回収率：	46%
クラス：	0歳児： 6 通	1歳児：	8 通	2歳児：	10 通
	3歳児： 7 通	4歳児：	4 通	5歳児：	4 通

#### 4. 全体をとおして

利用者家族へのアンケート回収率は46%に留まりました。

アンケートに回答した家族は、「保育園を総合的に評価した満足度」では「満足」が48%であり、「どちらかといえば満足」も含めると98%が満足しております。

内容別では、「満足」の高い項目として「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、迎えが遅くなる場合の対応」について75%であり、「どちらかといえば満足」も含めると98%が満足している状況です。他には「給食の献立内容」「お子さんへの体調への気配り」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についても「満足」が多くなっています。

その一方で、「年間の保育や行事に、保護者の要望は生かされているか」については、「満足」が18%に留まり、「不満」は8%、「どちらかといえば不満」15%となっています。また、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」については、共に「不満」が13%となり、「満足」も25%となっています。

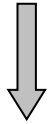
施設への要望などの自由記入欄には、「園長先生や先生方への、スキル、優しさ、温かさなどの感謝の意見がある一方で、複数の「保育参観」「保育参加」を望む声もあります。

**アンケート結果**

**■ 保育園の基本理念や基本方針について**

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない



1	2	3	4	5	無回答
7.5%	65.0%	20.0%	7.5%	0.0%	0.0%

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

1	2	3	4	5	無回答
65.5%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**■ 保育園のサービス内容について**

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	60.0%	27.5%	2.5%	0.0%	10.0%	0.0%
その他: 見学しなかった、見学できることを知らなかった						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	47.5%	42.5%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%
その他: よくわからない						
園の目標や方針についての説明には	47.5%	42.5%	7.5%	0.0%	2.5%	0.0%
その他: 説明されていないと思う						
お子さんの生育歴などを聞く対応には	35.0%	50.0%	10.0%	2.5%	2.5%	0.0%
その他: 特に面接はなかった						
保育園での一日の過ごし方についての説明は	45.0%	45.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなどもも含め、費用やきまりに関する説明については	35.0%	55.0%	7.5%	2.5%	0.0%	0.0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	32.5%	65.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	17.5%	42.5%	15.0%	7.5%	17.5%	0.0%
	その他:よくわからない、要望を聞かれる機会はなかった、要望できると思っていない、初年度なのでわからない					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	47.5%	37.5%	12.5%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:何をしているかわからない					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	47.5%	40.0%	10.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	52.5%	37.5%	5.0%	2.5%	2.5%	0.0%
	その他:詳しくわからない					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	45.0%	35.0%	10.0%	5.0%	5.0%	0.0%
	その他:わからない					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	42.5%	50.0%	5.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:わからない					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	32.5%	42.5%	15.0%	2.5%	7.5%	0.0%
	その他:わからない					

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	65.0%	32.5%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	55.0%	42.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:様子をみていないのでわからない、開始前					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	52.5%	37.5%	2.5%	0.0%	7.5%	0.0%
	その他:わからない、まだその段階ではない					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	52.5%	32.5%	7.5%	2.5%	5.0%	0.0%
	その他:不明					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	35.0%	35.0%	12.5%	0.0%	15.0%	2.5%
	その他:わからない、まだ時期ではない、すでにはずれていた					
お子さんの体調への気配りについては	62.5%	30.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	52.5%	27.5%	7.5%	2.5%	7.5%	2.5%
	その他:部位などによる、わからない					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	45.0%	37.5%	12.5%	2.5%	2.5%	0.0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	37.5%	52.5%	5.0%	2.5%	0.0%	2.5%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	35.0%	42.5%	15.0%	7.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	60.0%	37.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	25.0%	50.0%	10.0%	12.5%	2.5%	0.0%
	その他:面談がない気がする					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	47.5%	42.5%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	42.5%	47.5%	2.5%	5.0%	2.5%	0.0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	25.0%	47.5%	15.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	42.5%	52.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	40.0%	47.5%	5.0%	5.0%	2.5%	0.0%
	その他:わからない					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	75.0%	22.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	その他:そうなったことがまだない					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	50.0%	40.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%
その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	62.5%	32.5%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%
その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	50.0%	25.0%	2.5%	0.0%	17.5%	5.0%
その他:該当しないのでわからない、不明						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	60.0%	30.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%
その他:						
意見や要望への対応については	40.0%	45.0%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%
その他:						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	47.5%	50.0%	2.5%	0.0%	0.0%

## 事業者コメント

---

事業者名：グローバルキッズ戸塚第二保育園

2回目の第三者評価を受けるにあたり、職員も準備をし自己評価を事前に行い意識付けを行ってまいりました。職員一人ひとりが自分の保育を見つめ直し、前向きに考える機会になったと思います。

管理者である私も現場職員と向き合い人材育成に努めなければならないと気付く機会でもありました。

第三者評価を受け、園の良いところ、課題となるところを考え、よりよい園づくりに努めていきたいと思います。アンケートにご協力いただきました保護者様、沢山のアドバイスをくださった株式会社フィールズ様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



株式会社フィールズ

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3F

TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323